

若狭ネット

第106号 2007年 5月28日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！」

げんぱつ」連絡会（〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630） 大阪：日高原発に
反対する大阪の会（〒583-0005 藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660）
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

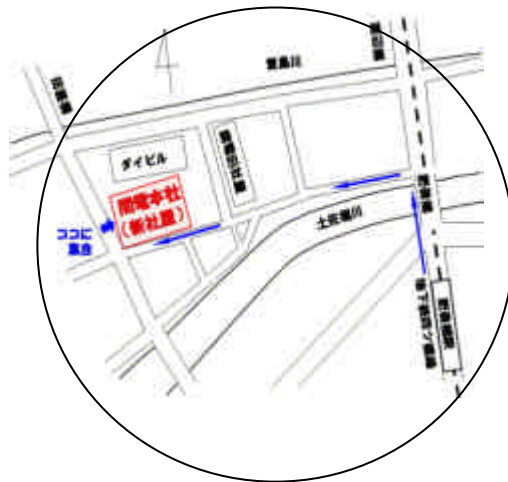
緊急行動にご参加下さい

事故直前、空白の12日間の説明を求めます 関電本社交渉

6月1日（金）午後6時～

場 所： 関西電力本社

（地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車 徒歩5分）



事故の核心部分が未だに不透明なまま

美浜3号炉事故（死傷者11名）について、関西電力は事故の12日前の2004年7月28日に、美浜原発の保修担当者が破断部位が28年間未点検であることを発見していました。しかし、発見したことを発電所長や若狭支社へすぐに伝えず、調査結果をまとめている最中に破断した」というのです。私たちは、きっと、美浜3号を今すぐ止めたら大損益になる。8月14日には、定期検査だ。このまま様子を見よう」という話し合いをしたのではないのかと疑っています。

私たちは、「この疑惑について公開質問状」

を提出し、5月16日に福井県美浜町の原子力事業本部で回答を得ました。しかし、事故の「核心部分」の12日間もの間、何をしていたのかの説明はありませんでした。この「事故の核心部分」が未だに不透明なままです。これを解明せずして、美浜3号事故は終わりません。遺族の無念の心も晴れません。6月1日にこの問題を中心に、関電本社で交渉をおこないます。緊急ですが参加をお願いします。



6月 日(金)午後6時～

関電 本社 交渉

「関電に 空白の12日間の説明を求めます」

場 所： 関西電力本社

(地下鉄四つ橋線 肥後橋 駅下車 徒歩5分)

6月 8日(金)午後2時半～5時

政府への申し入れ と 政府交渉

「原発被曝労働者への健康管理手帳の発行、東海村JCO臨界事故住民健康診断の長期継続などを もとめる」

場 所： 参議院議員会館第5会議室

呼びかけ団体： 反原子力茨城共同行動、原発はごめんだヒロシマ市民の会、双葉地方原発反対同盟、
原子力資料情報室、ビバク反対キャンペーン

連絡先： ビバク反対キャンペーン TEL 072-792-4628 (建部)

6月17日(日)午後2時から

「レーチェル・カーソン生誕100年と

『沈黙の春』を読む」 学習会

場 所 ヒューマインド (JR環状線 芦原橋駅下車)

連絡先 地球救出アクション97 稲岡 美奈子 TEL 072-339-2871

編集後記

- ・ 5月25日 日本政府は、エネルギー白書を閣議決定しました。新たな省エネルギー技術開発、原発・核燃料サイクルの確立、などの取り組み強化をあげています。また、安倍首相は、地球温暖化対策の長期戦略を発表しました。「世界全体の温室効果ガスの排出量を2050年までに半減する」というものです。
- ・ いまだに核燃料サイクルを謳っていますが、確立できるめどなどない事実をどう見ているのでしょうか。
- ・ 安倍首相は、「美しい国」づくりを掲げ、「愛国心」教育をすすめる、戦争のできる国をめざし、憲法の改悪をこの参議院選挙の争点にすると、表明しました。今度は、「耳障りの良い美しい星」づくりで、「43年後までに世界全体の温室効果ガスの排出量を半減する」と発表しました。京都議定書で日本に課せられている2012年までの排出量6%削減という目標を達成させるためのまじめな実行が伴わず、どうして50年の絵を語れるのでしょうか。
- ・ 政府は、ますます反動的な動きをしめす中で、原発推進を声高に叫んでいます。しかし、今ある老朽化した原発は悲鳴を上げ続けているのではないのでしょうか。止めるために一歩でもすすめる覚悟です。 きよ子